

G8ラクイラ・サミット

(成果文書・報告書)

平成21年7月

*原子力平和利用に関する記述（*文中の下線は当方にて付したもの）

<成果文書>

G8首脳宣言「持続可能な未来に向けた責任あるリーダーシップ」（仮訳）

気候変動と環境

(パラ89)

「我々は、気候変動とエネルギー安全保障上の懸念に取り組むための手段として、原子力計画への関心を示す国が増大していることを目の当たりにしている。これらの国々の意見では、原子力エネルギーは、温室効果ガスの排出量を減少させ化石燃料への依存を低下させるという二つの課題に対応するので、重要な役割を果たすことができる。我々は、原子力エネルギーの平和的利用の根本的な前提条件が、保障措置（核不拡散）、原子力安全及び核セキュリティ（3S）への国際的なコミットメントであることを再確認する。国際原子力機関（IAEA）との緊密な協働の下、我々は、強固な国際条約、基準、勧告及び監視手続の策定及び実施を国際及び国双方のレベルにおいて引き続き促進する。この文脈において、我々は、原子力安全及び核セキュリティに関する技術的に可能な最高の基準を確保し並びに革新的な技術の更なる開発及び展開を加速するため、費用効果分析、研究、インフラ及び人材の開発、プラント建設、運転、廃炉並びに廃棄物管理を含むあらゆるレベルでの国際的な協働を促進する。我々は、核不拡散、原子力安全及び核セキュリティに関する最高の基準を促進する上でIAEAが果たすべき重要な役割を強調する。我々は、原子力エネルギーの民生利用に関心を有するすべての国に対し、建設的な国際協力に関与するよう呼びかける。」

(パラ90)

「上述の諸問題を考慮し、G8原子力安全セキュリティ・グループ（NSSG）は、原子力安全及び核セキュリティの課題を検討する作業を続ける。我々は、原子力計画を開始し又は拡大している国々におけるキャパシティ・ビルディングを目的とした原子力安全及び核セキュリティに係る教育及び訓練に関してNSSGが立ち上げたイニシアティブを歓迎する。」

「不拡散に関するラクイラ声明」（仮訳）

(パラ7)

「我々は、NPTのすべての締約国が、原子力エネルギーをNPTのすべての義務に従って、平和的目的のために利用する奪い得ない権利を有していることを再確認する。遵守及び効果的な検証は原子力エネルギーの利用を妨げてはならず、むしろその安全かつセキュリティを確保した開発及びエネルギー源としての開発を促進するものでなければならない。我々は、IAEAとの協力において、核不拡散、保障措置、安全及びセキュリティを促進することにコミットしており、新興の原子力国における原子力に関する教育、訓練及びこれらの分野における組織的なキャパシティ・ビルディングに関する新たなイニシアティブを歓迎する。（以下略）」

<報告書>

G8 原子力安全セキュリティ・グループ（NSSG）報告書（仮訳）

（パラ 14）

「原子力エネルギーの平和的利用における 3 S（核不拡散／保障措置、原子力安全及び核セキュリティ）の重要性について、引き続き大きな注目が払われている。このイニシアティブの下で、NSSG の場における活動が開始した。この活動には、原子力エネルギーに関心を表明した国の基盤整備を支援するための 3 S 関連活動の実施における良き慣行及び教訓を共有することが含まれる。」

（パラ 15）

「我々は、原子力安全及び核セキュリティの分野において能力を有する人的資源を確保する上で政府の役割の重要性を再確認する。「原子力エネルギー基盤整備 3 S イニシアティブ」の一部として、我々は、教育及び訓練に関する事項を、原子力発電を開始する国におけるキャパシティ・ビルディングを制度のレベルにおいて促進するための不可欠な手段として注目する。我々は、これにより、これらの国の原子力計画を安全かつセキュリティを確保した方法で実施すること及び高いレベルの安全及び核セキュリティを世界規模で維持することに貢献する。」

（了）